



スポーツ少年秋田

AKITA JUNIOR SPORTSCLUBS ASSOCIATION

発行／秋田県スポーツ少年団 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター2F ☎018-866-3916

第45回日独スポーツ少年団同時交流 受入事業 大館市

45回目を迎える本事業は、日本とドイツのスポーツ少年団員（ドイツはスポーツユース）が同時に訪問し、ホームステイしながらスポーツやディスカッション、研修などを通して交流する事業である。今年度秋田県では大館市が東北Ⅰグループ（北東北3県）を受け入れた。

- 期 日 7月26日～30日
- 受 入 大館市
- ドイツ団 体操ユース8名、指導者1名
- 主な内容：歓迎会、寺院見学、茶道、武道、体操、ディスカッション、さよならパーティー

担当者の感想

大館市スポーツ少年団事務局 齋藤隆悦

大館市としては36年ぶり、旧比内町としては17年ぶりにドイツ団を受け入れた。実行委員会を立ち上げて数度の会議でプログラムを決定、ホームステイ受入の家庭を募った。

ドイツ体操スポーツユース（東北Ⅰグループ）は、最初が秋田県大館市、次が岩手県山田町、最後が青森県板柳町である。

初日は市役所で市長への表敬訪問の後、歓迎会。ホストファミリーとは、初めはお互いぎこちなかったが、次第に打ち解けていった。

2日目は日本文化の体験として、寺院での法要見学、お琴の演奏鑑賞、茶道体験、日本刀鑑賞など。秋田犬とのふれあいや柔道、剣道も体験。ジュニア体操教室ではドイツ団員が一生懸命子供たちを指導、記念写真撮影やプレゼント交換などで予定の時間を超えてしまった。

3日目はホストファミリーとの交流日。それぞれドイツ団員を近くの観光地や温泉に連れて行ったりスポーツクラブと交流したりし、言葉は通じなくても心を通わせることができた。



4日目は長走風穴館の見学。外気温が32度を超えても風穴からの冷気は2.2℃。その冷たさに感嘆の声が上がった。そし

て、明治時代、大館出身でドイツ皇帝に招かれ、その技を披露した軽業師鳥潟小三吉のゆかりの鳥潟会館の見学では、展示品を興味深そうに見ていた。

今回、重点を置いたプログラムの一つに、地元高校生との交流がある。ディスカッションのテーマは「スポーツにおけるインクルージョン」。健常者、障がい者、人種、性別など、お互いを理解・協力しあって、一緒に活動することをいう。東京パラリンピックを目前にお互い何ができるか、英語や通訳を通して意見交換し理解を深めた。ドイツユースは、ドイツの実情をパソコンでプレゼン。地元高校生も一生懸命意見を出していた。同年代の外国人との意見交換は貴重な体験であった。

お別れ会では、そろいのユニフォームに身を包んだドイツユースから組体操が披露され、会場を沸かせた。それぞれのホストファミリーと思い出を語ったり記念写真を撮ったりし、別れを惜しんでいた。

今回の受け入れは、実際の準備は4月からであったが、当日まであつという間に過ぎ、あと1週間、あと1日あればと何度も思った。プログラムはほぼ予定通りに実施でき、市の関係者及び通訳の方のご理解とご協力に心から感謝したい。

男性2人、女性6人の体操スポーツユースはみんな明るく、活発で、礼儀正しい若者であった。

日本各地で最高気温を更新した今年の夏、大館に数々のさわやかな思い出を残してくれた9人のドイツ体操スポーツユースに感謝と、これからの活躍を祈念し、またいつの日か大館を訪れてくれることを願う。



日独スポーツ少年団同時交流受け入れ ホストファミリーの感想(大館市)

「ドイツスポーツ少年団と過ごして」

三 政 琴 美



2人だったため、すぐに家族皆が彼女たちのことが好きになりました。

私達は、ドイツ語はもちろん英語も話せなかったのですが、お土産や彼女達のドイツでの写真を見ながら身振りや片言の英語などで話をし、娘達もすぐに親しみをもちました。スポ少活動や、茶道や華道などの日本や大館の文化に触れながら、ドイツ団員と楽しく活動しました。家族との活動日には十和田湖や八甲田山などを観光。移動の車中ではドイツの歌や、簡単なドイツ語を教してもらい、交流を深めました。

今回の交流で、外国人と一緒に生活することで文化の違いを肌で感じて、異国に興味を持ち今後の学びの視野や社会への関心も高まりました。子どもたちにとってもとても良い経験となりました。

「我が家に自慢の娘がもう一人」

小 林 博 樹

受入前は他のステイ先を気にし、「高級食材を食べさせねば」「遠くても有名な場所へ」と、あれこれ気を揉みましたが、家族で話し合い、田舎でできる体験をさせることが良いと割り切ることとしました。

妻と娘たちはパソコンやスマホ、片言の英語でコンタクトしていましたが、伝えたいことが100%は伝わらず、自分も含めもどかしさを感じました。

滞在中、重いリュックを背負っていたので自分が持とうとしましたが「イッツオーケー」とたしなめられ、「シャワーも最後でいい」と返され、彼女の

家庭でのきちんとした教育が随所に感じられました。

彼女がまた来日する機会があれば全力でサポートしたいと思っています。彼女が体操、アクロバットなどで活躍しテレビもしくはオリンピック出場で応援できる日を願って強く握手しました。たくさんの笑みをありがとう。

「ドイツの娘よ、がんばれ」



ドイツ人と過ごした夏

小松原 光

今年の夏、私の家にやってたのはタバアとアンニャ。私もスポーツ少年団に入っていることから、ホームステイを引き受けることになりました。

2人は、とても明るくフレンドリーで、言葉はわからなくてもすぐに打ち解けて楽しく過ごすことができました。

日本とドイツでは生活習慣が違うので、お互いにマナーやルールを教えあい、驚いたり感心したりの連続でした。すき焼きの生卵の食べ方は翻訳アプリがなかったら意味もわからず、食べてくれなかったかもしれません。

2人が大好きだったのはチョコレート。「日本のチョコレートは神」とまで言うのを聞いて、誇らしく思いました。

夜にはドイツのカードゲーム「リガト」を教してもらったり、初めての花火をしたりと、楽しい時間を過ごしました。

まだ話したかったことがたくさんあり、自分の言葉で伝えたかったと強く思いました。そして、「今度は私がドイツに行ってみよう。」今年の夏に出会った2人が、この思いを一層強くしてくれました。



2018年日独青少年指導者セミナー 受入(にかほ市)

●期日11月8日～12日 ●ドイツ指導者7名

全国を輪番で回るこの事業は、今年は山形県と秋田県が受け入れ県となっており、4泊5日の滞在をホームステイで受け入れた。

保育園の運動遊びや小学校の体育授業、中学校の部活動、スポ少活動の見学など生き生きと参加していた。市スポ少全団交流会では、団員へのレクリエーションを指導。言葉が通じなくても声や顔の表情、動作などで子どもを引きつけ盛り上げてもらった。

ホームステイプログラムでは、柔道交流やパラスポーツ、トレッキングなどを体験。一番の思い出は、「ホームステイ」と言われるほど喜ばれた。

ディスカッションは、「オリ・パラムーブメント」をテーマに、県スポーツ振興課や地元リーダーの発表などで充実したものとなった。

この交流は、にかほ市にとって東京2020を盛り上げるきっかけとなった。



第56回認定員等再研修会・県指導者研究協議会 (兼秋田市スポーツ少年団ブロック研修会)

●期日：12月1日(土) ●会場：秋田市文化会館 ●参加数：162名

「体罰根絶！スポーツ指導者のためのアンガーマネジメントと正しい叱り方のコツ」と題し、(一社)日本アンガーマネジメント協会の叱り方トレーナーである横井恵一氏を講師に講演を行った。今回は初めて開催地の秋田市スポーツ少年団との共催による。

始めに指導者の暴力のパターンや怒り(アンガー)が生まれるメカニズム、原因などが解説された。そして自分の感情をコントロールする方法として、カウントバックやストップシンキング、スケールテクニック等が紹介された。そして、叱ることのメリットやデメリットを押さえ、具体的なNGワードや褒める技術などを学んだ。最後に、自分の感情に責任を持てば怒りの連鎖を断ち切ることができるかとまとめられた。



第55回認定員等再研修会 (中央会場)

●期日：11月25日(日) ●会場：にかほ市総合福祉交流センタースマイル ●参加数：78名

日本スポーツ協会情報誌「Sport Japan」でもお馴染みの、心理カウンセラー吉田繁敬氏をお招きし、「子育てのコーチング～子どもにやる気を起こさせるわざ～」と題して講演を行った。

コーチングとは、子どもが自発的にやりたくなるようにさせること。そして、結果にこだわるのではなく、経過が大事。失敗しても「ナイストライ」で、自信・自律・積極性・能動的な子どもに・・・指導者も親も子どもが社会に出て役立つようなコーチングに心がけることを学んだ。

指導の現場や家庭の中でよくあるお話を交え、「あるある」と頷きながらのあっという間の2時間であった。



第54回認定員等再研修会 (県南会場)

●期日：11月4日(日) ●会場：湯沢グランドホテル ●参加数：82名

湯沢市雄勝郡を中心に県南地区のスポーツ少年団指導者及び関係者が一堂に会し、アンガーマネジメント(怒りをコントロールする技術)に重点を置き、テーマ「子どもの心にはたらきかける指導法」と題し、高知大学教授・矢野宏光先生をお招きし、講演会を開催した。

前半の講義では、指導上のポイントで自己効力感(できるという前向きな姿勢)と自尊感情「自分の肯定的な評価」、怒る(感情的)と叱る(理性的)との違い。そして、最後に先生の語気が強まり「できたことをほめてあげてください。その際、能力をほめるのではなく頑張ったことをほめてあげてください。それによって子どもたちはやる気のエネルギーが高まります。」ほとんどの参加者が、強い感銘を受けた。後半の演習は、参加者をグループ分けし、意見交換を行った。参加者は質題に真剣に取り組み、今まで感じていても言えなかったことをどんどん発言し、大変有意義な時間となった。この研修会を生かして良識ある指導者、育成母集団を新たに築き上げ、スポーツ立県秋田の主演となっていく心身ともに健全な子供たちの育成を推進していただきたい。



第53回認定員等再研修会 (県北会場)

●期日：9月5日(水) ●会場：鹿角市記念スポーツセンター ●参加数：68名

日本アンガーマネジメント協会会員で第一印象研究所代表の杉浦永子氏(鹿角市出身)を講師に迎え、鹿角地区指導者研修会兼育成母集団研修会と併せて実施した。

二部構成の一部では「スポーツ指導に生かす怒りのコントロール方法」を講演で学び、二部では「怒らない体操」を実技体験した。内容については、指導協の中から多くの要望があったもの(アンガーマネジメント)を取り上げただけに、参加者は指導者としての資質向上に向けて真剣に又楽しく取り組み、あっという間の充実した時間であった。



秋田県スポーツ少年団リーダー会 活動紹介

スポーツ少年団の「リーダー」とは、単位団において自らも団員としてスポーツ活動するほか、指導者と協力して団を育てていく役割を担っています。秋田県スポーツ少年団リーダー会は、中学生～24歳の団員及び指導者を対象に会員を募り、研修や交流を深める活動をしています。53名が会員登録し、年間を通して活動しています。



3月 リーダーの集い 中学生以上を対象に、リーダー会会員と参加団員が交流しリーダー活動についての理解を深めます。日独同時交流や北海道・東北ブロック研究大会等の報告で学んだり、レクリエーションゲームで交流を深めたりします。指導に向けて研修会も行い、研鑽に努めています。

5月 総会 事業計画の協議や新年度役員の選出等を行い、年間事業をスタートさせます。

6月 全国スポーツ少年団リーダー連絡会 全国の都道府県のリーダー代表が研修し意見交換するこの事業は、今年度は旧指導者全国研究大会とタイアップし「ジュニアスポーツフォーラム」と連携したプログラムで行われました。「東京2020大会に向けた少年団リーダーアクション2018-2020『スポーツで人々をつなごう』」をテーマに、1日目は各地方ブロックの報告や次年度に向けた課題を協議、2日目は講演と分科会で研修をしました。本県リーダー会から会長の矢部太陽さん（にかほ市）と顧問の小畑治隆さんが参加し（全国から87名参加）、幅広い意見を聞き、より良いリーダー会の運営のための参考になりました。

参照：日本スポーツ協会ホームページ>日本スポーツ少年団>リーダー養成>全国スポーツ少年団リーダー連絡会

7月 ジュニア・リーダースクール兼秋田県スポーツ少年大会

リーダー会の最も大きな事業です。小学5年生～中学生を対象に、田沢湖スポーツセンターで2泊3日の日程で行われました。スポーツ活動やレクリエーション、野外活動、リーダーについての講義に取り組み、集団生活を通して参加団員の交流を深めながら研修します。プログラムはリーダー会が主に企画し、安全に楽しく取り組んでもらえるよう準備していき当日の指導・運営を行います。



8月 シニア・リーダースクール

静岡の国立青少年交流の家を会場に4泊5日の研修を行います。リーダーに必要なスポーツの基礎知識やコミュニケーションスキル等を学び、実際に子どもたちを対象に実技指導などをして実践スキルも高めます。全国にたくさんの仲間ができるのも楽しみ。（日独同時交流派遣の基礎資格になります）

8月 日独同時交流 派遣・受け入れ

ドイツのスポーツユースと日本のスポーツ少年団員が同時に訪問しあい、スポーツや研修、ホームステイを通して交流を深めます。今年度は矢部太陽さん（にかほ市）が派遣され（詳細は前回広報）、受け入れは大館市で行われ、地元リーダーがスポーツやディスカッション等で交流を深めました。



10月 北海道・東北ブロック リーダー研究大会



北海道と東北6県で会場を持ち回り、リーダーが研修をする事業で、今年度は北海道札幌市で開催されました。秋田県から高校生～社会人のリーダー6名が参加し、研修や情報交換を行い、リーダーとしてのスキルアップを図り、さらに交流も非常に深められました。

各団、市町村でリーダーの育成をお願いします！小学生で終わらずに登録を継続し、学校の部活優先でもOK、リーダー活動を続けてみましょう。
まずはジュニア・リーダースクールへ参加！子どもたちは遅く成長します！

リーダーに関するお問い合わせ
秋田県スポーツ少年団
TEL.018-866-3916

第41回秋田県スポーツ少年団(競技別)交流大会

9月以降は6種目において、競技を通じて交流を深めた。(※成績は団体のみ掲載)



- ラグビー 9月22日～23日(大潟村ラグビー場)
- 参加数 10団、296名
- 優勝【高学年】Aブロック:脇本A
Bブロック:高清水
Cブロック:出戸浜
- 【中学年】Aブロック:船川一
Bブロック:高清水A
Cブロック:金足西レディース



- 卓球 12月22日(県立体育館)
- 参加数 29団、458名
- 優勝 男子 卓球会館A
女子 県南卓球道場



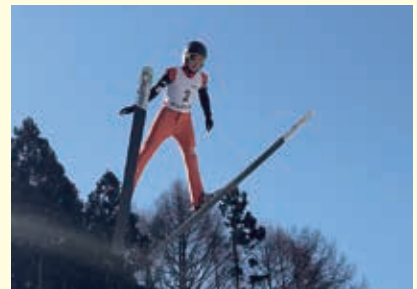
- ミニバスケットボール
1月5日～8日(CNAアリーナ★あきた)
- 参加数 55団、1,100名
- 優勝 男子 横手バスケットボールASAKURA
女子 新山ミニバスケットボールクラブ



- スキーアルペン
1月19日～20日(矢島スキー場)
- 参加数 71名



- スキークロスカントリー
2月9日～10日(たざわ湖スキー場)
- 参加数 129名



- スキージャンプ
2月23日～24日(花輪スキー場)
- 参加数 11名



お弁当の配達承ります。

会議、研修会、各種スポーツ等

630円より様々な種類のお弁当をご用意しております。

※配達は10個からとさせていただきます。

歓迎会、送別会

(ご予算に応じて承ります。)



青少年交流センター
有限会社 県庁食堂

レストランユースパル

秋田市寺内神屋敷3-1
TEL. 018-880-2310
FAX. 018-880-2319

私たちの団

各団の一行目は団名(市町村)、種目、団員数(学年)、活動場所、代表指導者

土崎道場柔道スポーツ少年団(秋田市)柔道 15名(小2~小6) 土崎道場 櫻田 浩幸

秋田市立飯島小学校 6年 佐原 擧斗

僕たち土崎道場スポーツ少年団は、週に2回練習しています。毎回、たくさん先生の先生に来て頂いて、いろいろな技を熱心に分かりやすく教えてくれます。僕たちの目標は、「みんなの力を合せて優勝すること」です。理由は、毎回大会に出場してもすぐに負けてしまい、とても悔しい結果で終わっていました。だから毎日の練習にしっかりと取り組み、優勝して喜び合いたいと思います。

また、僕たちの団は、毎年1月になると寒げい古納め大会や、もちつきをしています。大会が終わった後に食べるものは、とてもおいしいです。おいしいもちをエネルギーにして、みんなが仲良く柔道にはげみたいと思います。



払戸ミニバスケットボールスポーツ少年団(男鹿市)バスケ 15名(小1~小6) 払戸小学校 体育館 渡部 恒清

男鹿市立払戸小学校 6年 目黒 結子

私たちは、1~6年生までの団員で活動しています。今は15人の団員がいいますが、それまでは人数がそろわなくて試合に出られないことがあったり、指導してくれる人がいなかったり、大変なことがたくさんありました。今は仲間と試合できることがとてもうれしいし、楽しいです。今年度は全県大会出場を目標に今までがんばってきました。毎日厳しい練習でしたが、みんなではげましあい、のりこえてきました。その成果が最後の全県大会準優勝につながったと思います。チーム一丸となってとった準優勝は私たちの宝物です。今まで支えてくれた監督コーチ、保護者や地域の方たちに感謝しています。東北大会でも払戸魂でがんばりたいです。



I V C-kids スポーツ少年団(湯沢市)バレーボール 29名(小1~小6) 駒形小学校体育館 日野 春雄

湯沢市立駒形小学校 5年 藤原 舞空

I V C-kids スポーツ少年団は、湯沢市の楡川地区を中心に活動しています。地区や学年がバラバラでも、みんな仲が良く、明るく元気な団員です。今年度は、混合の部で全県優勝を果たし、初の全国大会出場という大きな経験をしました。そこで私たちもたくさんの方のことを学び、大きな感動を得てきました。次は、私たち5年生が団をひき、ていく番です。6年生が残してくれたチームの新しい歴史をしっかりと受けついでいけるように日々の練習にはげんでいます。

いつも教えてくれるかんとくやコーチ、応援してくれる家族への感謝の気持ちを成果で返せるように、これから練習に取り組んでいきたいです。





汚れ

消しゴムの汚れが目立たず、キレイに使えます。

消しゴムモノ/PE01 ブラック 63円 (本体価格60円)



汚れに強いブラックボディ



消しクス

紙面上の消しクスが見やすく、処理が容易です。

消しゴムモノ/PE04 ブラック 105円 (本体価格100円)



株式会社トンボ鉛筆
http://www.tombow.com

夢を支える応援団

スポーツ少年団を支える指導者・育成母集団の声

可能性を育てる

小坂町男子ミニバスケットボールスポーツ少年団
指導者 成田 喜輝

最近は様々な競技のプロ化が進み、子ども達にとって、プロ選手というのが以前に増して身近になり、大きな憧れになっていると感じます。

子ども達の将来は、多くの希望と可能性に満ちあふれています。今、ミニバスケットをしている団員も、将来は違う競技で世界へ羽ばたくかもしれません。そのため、スポ少活動だけでなく地域活動等に積極的に参加し、多くの経験を通して子ども達の可能性を育み、地域だけでなく、より大きな舞台で活躍する選手になってほしいと思います。

地域から愛され、応援されるチームになれるよう、団員・保護者・指導者が団結していきます。

また、様々な活動を通して、子ども達が心も体も大きく成長できるような環境を目指していきたいと思えます。



「仲間」

琴丘スポーツ少年団
親の会 田中 晃

最近の県内のスポーツは金足農業高校の甲子園での活躍を始め、雄物川のバレー部や秋田商業高校のサッカー部などすばらしい成績を収めています。それに比べてソフトボールは注目度が低いですが、昨夏の全国小学生女子ソフトボール大会で当団の琴丘ドリームシャインはベスト8という成績を収めることができました。

これは子供、指導者、保護者など関わる多くの人々が一つの目標に向かって試行錯誤しながら取り組んできた成果だと思えます。

そして、私が今でも強く印象に残っていることは、ベスト4をかけた試合で負けた時、多くの子供達が涙を流していたことです。負けたという悔しい感情だけでなく、色々な感情が入り交じっていたと思います。『仲間』の大切さも感じたと思います。これからスポーツだけでなく生活をしていく上で、必ず苦しい時や悩む時があると思います。その時に『仲間』に相談したり、アドバイスをもらったり自分を助けてくれる存在になります。このかけがえのない『仲間』を大切にしてこれからの人生を歩んでいってほしいと思います。



お客様の「困った」を全力で解決します！

INEX

-Since 1948-
株式会社

アイネックス

<http://www.inecx.co.jp>

パソコン専門店

COM

- 本社：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- 建装事業部：〒010-0063 秋田市牛島西1-4-5
- IT事業部：〒010-0041 秋田市広面字鍋沼37
- 能代営業所：〒016-0864 能代市字鳥小屋32-5
- 大仙営業所：〒014-0047 大仙市大曲須和町2-2-20

- Tel 018-887-5560 Fax 018-835-5666
- Tel 018-836-0330 Fax 018-835-5666
- Tel 018-831-3131 Fax 018-831-2211
- Tel 0185-55-3780 Fax 0185-55-3750
- Tel 0187-62-6630 Fax 0187-62-6610



東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

●柔道

期日：12月1日～2日 会場：宮城県武道館
小学生男子は小友スポーツ少年団、中学生男子は御野場石川道場スポーツ少年団、小学生女子は角館柔人クラブスポーツ少年団、中学生女子は小友唯心塾スポーツ少年団が出場しました。

●ミニバスケットボール

期日：3月9日～10日 会場：青森県武道館他
男子は八橋男子ミニバスケットスポーツ少年団、花輪エルクススポーツ少年団、向能代ストーンズスポーツ少年団、女子は弘戸ミニバススポーツ少年団、尾崎女子バスケットボールスポーツ少年団、飯島女子ミニバスケットボールスポーツ少年団が出場します。

全国スポーツ少年団競技別交流大会

●サッカー

期日：12月25日～29日 会場：鹿児島県鹿児島ふれあいスポーツランド他
スポルティフ秋田スポーツ少年団
指導者2名、団員16名が出場しました。

●剣道

期日：3月27日～29日 会場：山口県維新百年記念公園
大仙市洗心館剣道・角間川道場剣道スポーツ少年団
指導者1名、小学生4名が出場します。

●バレーボール

期日：3月28日～31日 会場：大分県べっぴアリーナ他
能代市白神スプリングススポーツ少年団
指導者1名、団員12名が出場します。

認定員養成講習会

2018年度実績

	前 期		
	期 日	場 所	認定者
県北	6/9～10	大館市（大館市立中央公民館）	151名
中央	5/26～27	秋田市（秋田市文化会館）	105名
	6/9～10	秋田市（秋田市文化会館）	92名
	6/16～17	秋田市（秋田市文化会館）	103名
	6/23～24	由利本荘市（西目公民館シーガル）	107名
	6/30～7/1	秋田市（秋田市文化会館）	81名
県南	6/2～3	横手市（浅舞公民館）	50名
	6/16～17	湯沢市（湯沢文化会館）	56名
	後 期		
	期 日	場 所	認定者
県北	11/10～11	能代市（二ツ井公民館）	90名
中央	10/20～21	秋田市（秋田市文化会館）	85名
	11/17～18	秋田市（秋田市文化会館）	160名
県南	10/27～28	大仙市（大曲交流センター）	143名

2019年度開催日

	前 期		
	期 日	場 所	認定者
県北	6/8～9	大館市（大館市立中央公民館）	
中央	5/25～26	由利本荘市（西目公民館シーガル）	
	6/15～16	秋田市（秋田市文化会館）	
	6/22～23	秋田市（秋田市文化会館）	
	6/29～30	秋田市（秋田市文化会館）	
	7/6～7	秋田市（秋田市文化会館）	
県南	6/1～2	横手市（浅舞公民館）	
	6/15～16	湯沢市（湯沢文化会館）	
	後 期		
	期 日	場 所	認定者
県北	10/19～20	能代市（能代市総合体育館）	
中央	11/9～10	秋田市（秋田市文化会館）	
	11/23～24	秋田市（秋田市文化会館）	
県南	10/26～27	大仙市（大曲交流センター）	

問い合わせ・申込は各市町村スポーツ少年団本部へ



目指せ世界の頂点!

がんばる
ジュニア
応援します



あらゆるニーズにお応えする
松原印刷社
〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29
TEL 018-862-8760代
FAX 018-863-0005
http://www.matsubarainsatsu.co.jp
E-mail:matsubara@matsubarainsatsu.co.jp

スポーツ安全保険

文化活動も加入出来ます

対象となる事故 **団体活動中の事故 / 往復中の事故**

保 険 期 間 2019年4月1日の午前0時から2020年3月31日午後12時まで

4名以上の団体・グループで加入ください。

公益財団法人 **スポーツ安全協会 秋田県支部**
(公財) 秋田県体育協会内
〒010-0974 秋田市八橋運動公園1-5 秋田県スポーツ科学センター内
TEL **018-883-0360** 電話受付時間 午前8時30分～午後5時(土、日、祝日を除く。)

インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<https://www.sportsanzen.org>
●資料請求は、インターネットより受付けております。

携帯電話から資料請求ができます。

※「スポーツ少年秋田」は、ホームページ (<http://www.akitaikyoo.or.jp>) でもご覧いただけます。